



第 56 号  
羽工工業高等学校  
2019年9月26日

『おい「あくま」になれ!』



P T A 会長  
一瀬 明彦

保護者の皆さま、日頃より P T A 活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

去る六月五日に P T A 活動では初めての試みとなる「陸上競技大会での給水」を行いました。この日は大変暑く、準備した飲み物はほとんどなくなってしまう程大盛況? でした。給水の効果もあり? 日射病や脱水症状を起こす生徒がいなかったこと、また、生徒たちの、教室では見られない生き生きとした姿を見ることができたこの活動は、来年も実施していただきたいと思えました。実施の際は、たくさんの P T A の方の参加があればいいなと期待しております。さて、この言葉ですが、私が中学



〈校内陸上競技大会給水の様子 (R 1.6.5)〉

生の時、全校集会で当時の校長先生が話された言葉です。もちろん、本当に悪魔になれというのではなく、言葉の頭文字を組み合わせた「あくま」です。

あくまの「あ」は、「あせるな」の「あ」です。なりたい自分が遠い存在と感じたり、やりたい事・やらなければならない事があまりにも多すぎたりすれば、人は誰でも焦りや不安を感じます。何が自分に大事か考え続けることが大事です。今やる事・やれる事をゆつくり、でもしつ

かりと確実に一步一步前に進んでいくことが、実は一番の近道だったりするものかもしれません。

次に、あくまの「く」は、「くさるな」の「く」です。自分の思い通りにならない事、失敗してしまった事にこだわり過ぎない、引きずらないでほしいと思います。学生である皆さんは、自分の良さや可能性をどこまでも信じる時間が多くあります。いい意味で「まっいいか」「しょうがない」と自分に言い聞かせ、気持ちを切り替えて前に進みましょう。また、足を引っ張る人の言動に惑わされて何も努力しないという「くさる」もやめましょう。

最後に、あくまの「ま」は、「まけるな」の「ま」です。当然、殴り合いのケンカに負けるなどという意味ではありません。人生にはいろいろな「勝負の時」があります。その時に備えて、勉強や練習、その他必要な準備、その大事な時の心構えをしておくことによって、勝負の時に負けるなという事です。

「負けるな」でも一つ。「怠惰な弱い自分に勝て、人生最強の敵は己にあり (奥城鬼十則より引用)」という言葉があります。本当に負けたいいけないのは他人ではなく、自分自身なのかもしれません。当時の校長先生がお話された内容

とは違う個人の解釈ですが、皆さんそれぞれの「あくま」を自分に当てはめて、これからの人生の荒波を乗り越えていく糧となれば幸いです。結びに、保護者の皆さまのこれまでの P T A 活動に対して敬意と感謝を申し上げるとともに、引き続き P T A 活動へのご参加よろしくお願ひいたします。

令和元年度  
P T A 役員の方々です

- |         |       |
|---------|-------|
| 会長      | 一瀬 明彦 |
| 副会長     | 山西 智子 |
| 書記      | 山西 智子 |
| 監査      | 山西 智子 |
| 広報委員長   | 山西 智子 |
| 研修委員長   | 山西 智子 |
| 生活指導委員長 | 山西 智子 |
| 母親委員長   | 山西 智子 |
| バス管理委員長 | 山西 智子 |

## 「自律・創造」

校長 稲垣 裕



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動の推進に多大なご協力と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度は、令和となった五月十一日にPTA総会が行われ、一瀬明彦会長を中心とした新体制のもと、様々なPTA活動を行っていただいております。ここで、退任された旧役員の皆様のごこれまでの多大なるご尽力に対しまして、改めて感謝申し上げます。

本校は建学の精神として校訓「自律・創造」を掲げ「地域社会に貢献できる社会人」の育成を目指しています。「自律」とは、辞書では、「自分で自分の行為を規制すること。外部からの制御から脱して、自身の立てた規範に従って行動すること」と書かれています。私は、「自律」とは、「自らが生じた規範に従うこと、そして自分の考えや立場をしっかりと持ち、他から影響されずに自分で考えて行動するという「主体性」に繋がるもの」であり、また、「創造」と

は、本校のようなものづくりを学ぶ工業高校の基本であり、身の回りのちよつとしたことに疑問を持ち、課題を見つけて創意工夫を凝らして、解決を図ることであると考えています。

さて一学期は、各々が日々重ねてきた練習の成果を十分に発揮し活躍しました。五月末から開催された県高校総体では、剣道部、弓道部、柔道部、陸上部、ラグビー部、卓球部が北信越大会・中部日本大会などの上位大会の出場権を獲得しました。北信越大会では、弓道部が13年ぶり七度目の優勝を果たしました。ヨット部は、全国高校総体出場を前に七月にポルトガルで開催された世界選手権大会にも出場することができました。写真部は、佐賀県で開催された全国総文祭に作品を出展しました。各種大会の前には、壮行式を実施しています。大会に出場する生徒たちは、「これまで支えてくれた家族や先生、先輩、仲間への感謝の気持ちを忘れずにプレーしたい」と決意の言葉を述べ、感謝の心を持って、大会に臨んでいます。保護者の皆様の深い愛情と支え、学校に対するご理解とご協力があればこそ本校教育活動であり、部活動であると感じております。

また、県高校総体において、本校は昨年度まで三年連続、敢闘賞（一

学年四クラス規模以下の高校で競技成績の総合点が最も高い高校が受賞）を獲得しています。今年度も敢闘賞の獲得を期待しているところであります。

これから二学期は、資格試験受験を含めた学習、学校祭・インターンシップ・修学旅行などの学校行事や新人大会などがあります。三年生にとっては、この九月以降が進路を決定する大事な時期となります。我々教職員は各学年それぞれの生徒が活躍することを期待し、学習指導や進路指導、部活動指導等の一層の充実を図り、魅力ある学校、選ばれる学校を目指し「自律・創造」のできる生徒を育てるために、全教職員一丸



〈県高校総体・総文等壮行式〉

となり教育活動を推進して参ります。今後とも、引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 令和元年度 PTA総会報告

五月十一日(土)にPTA総会が開催されました。当日は、総会前に各学科の授業・実習の様子を間近で見え、頂上授業参観と沢山の保護者の方々の前で応援歌を大きな声で歌い、各部の選手が勝利の誓いを述べる県高校総体・総文等壮行式が行われました。

総会では、議事次第により、昨年度の事業・会計決算報告及び今年度の事業計画や予算について審議いただきました。羽工生の健全育成及び活発な活動のために尽力することを確認し、今年度の出発となりました。

総会に続いて学校活動の紹介が行われ、学校経営計画・重点目標・資格検定・進路状況等についてプレゼンテーション形式で説明をいたしました。

その後、学年ごとに別れて学年集會が行われました。主な内容として、一・二年生は、学校生活や生活指導についての報告と連絡、三年生は、希望する就職・進学の進路実現に向けた取組について報告をし、最後に学級懇談会が行われました。



〈PTA自転車マナー県下一斉指導〉

自転車の乗車やマナー指導、横断歩道を渡る際の安全指導が、去る六月二十一日(金)の朝七時三十分より羽咋駅および学校付近の交差点で、保護者の方々、教職員、生徒会生徒が参加して実施されました。

### PTA自転車マナー 県下一斉指導

### PTA 功労者表彰

功労者表彰として次の二名の方々に感謝状をお渡ししました。

役 歴

副会長、会計

石 田 薫 様

副会長

木 舩 さゆり 様

### 地区 P T A 懇談会

今年度地区 P T A 懇談会は、六月十八日(火)、十九日(水)、二十日(木)の三日間、羽咋会場(羽咋工業高校)、志賀会場(いこいの村 能登半島)、七尾会場(七尾サンライフプラザ)に於いて十九時から二十時三十分の時間で、学校紹介と学年・クラス別の懇談会を行い、百十三名の保護者の方々が参加して実施されました。参加された保護者の皆様ありがとうございました。

### 志賀地区懇談会に参加して

副会長 津梅 初美

六月十八日、志賀町地区 P T A 懇談会がいこいの村能登半島にて開催されました。

全体会のお話の中で、スマートフォンについて、使用時間や安易な書き込みに対しての注意喚起があり、注視し続けることによって起こる斜視も含め気を付けなければと思います。

また、昼休みの校内の様子もお聞きし、様々な場所で先生方が見守って下さっている事を実感しました。学年懇談会は、二年生に参加し、担任の先生からインタビューや

資格試験、修学旅行について、進路指導の先生からは就職に関して近年の傾向等を伺いました。総会とは違い、少人数ならではの質問ができる良い機会でした。  
お忙しい中ご参加頂いた保護者の皆様、ご準備下さった先生方、ありがとうございました。

### 七尾地区懇談会に参加して

会計 廣里 修孝

七尾地区 P T A 懇談会は、六月十九日(水)、七尾サンライフプラザで開催されました。校長先生の挨拶の後、教務課・進路指導課・生徒指導課の先生方より、中間考査・資格取得の奨励、最近の就職状況、そしてスマートフォンの使用によるインターネット上のトラブルについての報告・説明がありました。特にインターネット上のトラブル内容には驚かされたことから、改めて子供とスマートフォンの使用について話をしたいと思えます。

引き続き行われた学年懇談会は、学年主任の先生から学年全体の話を伺い、その後は、担任の先生と子供のことをじっくり話すことが出来たので、有意義な時間となりました。最後に、先生方が子供達と真剣に向き合っていることに気付かされ、

改めて羽工の良さを感じることが出来ました。



〈地区 P T A 学年集会〉

### 羽咋地区懇談会に参加して

副会長 塩谷 悟

七月二十日(木)に羽咋地区 P T A 会が羽咋工業高校において開催されました。

全体会では、進路指導課から昨年度の求人が 1100 件あり、最近 5 年間で就職する生徒の割合が 6 割から 8 割強に増えているとの説明がありました。また、資格取得の奨励、部活の状況、スマートフォン使用によるトラブル等についての報告や説明がありました。

学年懇談会は、学年別に行われ、3 年生の部に参加しました。先生方が生徒一人一人に合わせて懸命に取